

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3144218号
(U3144218)

(45) 発行日 平成20年8月21日 (2008. 8. 21)

(24) 登録日 平成20年7月30日 (2008. 7. 30)

(51) Int. Cl.

B 3 2 B 15/08 (2006. 01)

F 1

B 3 2 B 15/08

H

評価書の請求 未請求 請求項の数 2 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 実願2008-3848 (U2008-3848)

(22) 出願日 平成20年6月9日 (2008. 6. 9)

(73) 実用新案権者 308019047

オリジナルケーエス株式会社
宮城県仙台市若林区卸町東一丁目6番23号

(74) 代理人 100095359

弁理士 須田 篤

(74) 代理人 100143834

弁理士 楠 修二

(72) 考案者 中島 功

宮城県仙台市若林区卸町東一丁目6番23号
オリジナルケーエス株式会社内

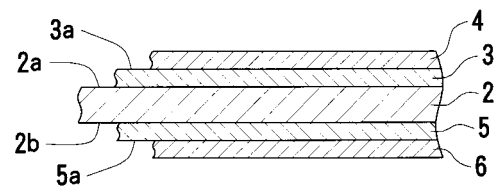
(54) 【考案の名称】 箔押しシール

(57) 【要約】

【課題】 箔押し層の上に印刷層が設けられ、箔を用いて多様なデザインが可能な箔押しシールを提供する。

【解決手段】 シート材2が、一方の面2aに網状の模様から成る凹凸パターンを有する。箔層3が、シート材2の一方の面2aに、箔押しにより形成される。箔層3は、表面3aに、シート材2の凹凸パターンが浮き出している。印刷層4が、箔層3の表面3aに設けられている。印刷層4は、印刷装置により、箔層3の表面3aにキャラクターの絵柄や模様などを印刷することにより形成されている。粘着剤層5が、シート材2の他方の面2bに設けられている。剥離紙6が、粘着剤層5の表面5aに、剥離可能に貼り付けられている。

【選択図】 図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

シート材と、

前記シート材の一方の面に箔押しにより形成されて表面に凹凸パターンを有する箔層と

、

前記箔層の表面に設けられた印刷層と、

前記シート材の他方の面に設けられた粘着剤層と、

前記粘着剤層に剥離可能に貼り付けられた剥離紙とを、

有することを特徴とする箔押しシール。

【請求項 2】

10

前記凹凸パターンが網状の模様から成ることを、特徴とする請求項 1 記載の箔押しシール。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案は、箔押しシールに関する。

【背景技術】**【0002】**

20

従来の箔押しシールとして、着色インキ層の上に箔押し層を設けたもの（例えば、特許文献 1 参照）や、樹脂製フィルムに第 1 模様を印刷によって形成し、その上に樹脂クリヤー層を形成し、さらにその上に金箔等の箔を箔押しして第 2 模様を形成したもの（例えば、特許文献 2 参照）がある。箔を用いることにより、光沢のある優れた装飾性が得られる。

【0003】

【特許文献 1】登録実用新案第 3038220 号公報

【特許文献 2】特開平 6-178635 号公報

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】**

30

【0004】

しかしながら、従来の箔押しシールでは、箔押し層の上に印刷層を設けたものではなく、デザインが限られるという課題があった。箔押し層の上に印刷層を設けると、印刷層が載りにくいため、印刷層に剥げた個所を生じ、不良品が出るためである。

【0005】

本考案は、このような課題に着目してなされたもので、箔押し層の上に印刷層が設けられ、箔を用いて多様なデザインが可能な箔押しシールを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】**【0006】**

40

上記目的を達成するために、本考案に係る箔押しシールは、シート材と、前記シート材の一方の面に箔押しにより形成されて表面に凹凸パターンを有する箔層と、前記箔層の表面に設けられた印刷層と、前記シート材の他方の面に設けられた粘着剤層と、前記粘着剤層に剥離可能に貼り付けられた剥離紙とを、有することを特徴とする。

【0007】

本考案に係る箔押しシールは、シート材の一方の面に箔押しにより箔層が形成され、その箔層の表面にキャラクターの絵柄や模様などを印刷して印刷層が設けられている。本考案に係る箔押しシールは、箔層の表面に印刷層が設けられているため、箔を用いて多様なデザインが可能となる。また、光沢のある優れた装飾性が得られる。本考案に係る箔押しシールは、剥離紙を剥がして、粘着剤層により所望の位置に貼り付けることができる。

【0008】

50

シート材は、例えばアート紙や上質紙から成ることが好ましい。シート材、粘着剤層および剥離紙は、あらかじめ一体的に形成されたタック紙から成ることが好ましい。

【0009】

本考案に係る箔押しシールは、箔層の表面に凹凸パターンを有するため、箔層の上に印刷層が載りやすい。このため、印刷層が剥がれるのを防ぎ、製造効率を高めることができる。本考案において、凹凸パターンは、シート材の厚さより低い段差の凹凸から成ることが好ましい。本考案に係る箔押しシールは、前記凹凸パターンが網状の模様から成ることが好ましい。しかしながら、凹凸パターンは、網状の模様のほか、細い罫線や多数の点状の模様で形成されていてもよい。箔層の凹凸パターンは、シート材に設けた凹凸パターンが浮き出して成っていても、箔層自体で凹凸パターンを有していてもよい。

10

【考案の効果】

【0010】

本考案によれば、箔押し層の上に印刷層が設けられ、箔を用いて多様なデザインが可能な箔押しシールを提供することができる。

【考案を実施するための最良の形態】

【0011】

以下、図面に基づき本考案の実施の形態について説明する。

図1は、本考案の実施の形態の箔押しシールを示している。

図1に示すように、箔押しシール1は、シート材2と箔層3と印刷層4と粘着剤層5と剥離紙6とを有している。

20

【0012】

シート材2は、薄いシート状のアート紙から成っている。シート材2は、一方の面2aに、網状の凹凸パターンが施されている。

箔層3は、シート材2の一方の面2aに、箔押しにより形成されている。箔層3は、表面3aに、シート材2の凹凸パターンが浮き出している。

【0013】

印刷層4は、箔層3の表面3aに設けられている。印刷層4は、所定の印刷装置により、箔層3の表面3aにキャラクターの絵柄など様々な模様を印刷することにより形成されている。

粘着剤層5は、シート材2の他方の面2bに設けられている。粘着剤層5は、シート材2の他方の面2b全体に、粘着剤を塗布することにより形成されている。

30

【0014】

剥離紙6は、粘着剤層5の表面5aに、剥離可能に貼り付けられている。

シート材2、粘着剤層5および剥離紙6は、これらがあらかじめ一体的に形成されたタック紙から成っている。

【0015】

次に、作用について説明する。

箔押しシール1は、ロール状のタック紙を原紙として製造される。箔押しシール1は、薄いシート材2の一方の面2aに、箔押しにより箔層3を形成し、その箔層3の表面3aにキャラクターの絵柄などの模様を印刷して印刷層4を設け、印刷層4の模様に沿って型抜きして製造される。箔押しシール1は、箔層3の表面3aに印刷層4が設けられているため、箔を用いて多様なデザインが可能であり、また、印刷面の上に箔押ししたものと異なる質感を得ることができる。さらに、箔層3により色艶や光沢のある優れた装飾性が得られる。シート材2の凹凸パターンは箔層3の表面3aに浮き出るので、箔押しシール1は装飾性に優れたものとなる。

40

【0016】

箔押しシール1は、剥離紙6を剥がして、粘着剤層5により所望の位置に貼り付けることができる。箔押しシール1は、貼り付け前には、剥離紙6で粘着剤層5が覆われている。箔押しシール1は、シート材2の一方の面2aに施された網状の凹凸パターンの上に箔が載っているため、箔層3が剥がれにくい。また、箔層3の表面に凹凸パターンを有する

50

ため、箔層 3 の上に印刷層 4 が載りやすい。このため、箔層 3 や印刷層 4 が剥がれるのを防ぎ、不良品の発生を抑えて製造効率を高めることができる。

【0017】

なお、箔押しシール 1 で、シート材 2 および箔層 3 の凹凸パターンは、網状の模様に限らず、多数の点状の模様や花模様など、いかなる模様から成っていてもよい。この場合、凹凸の線の太さや目の細かさを所定のサイズより小さくすることにより、シート材 2 の上に箔を載りやすくし、また、箔層 3 の上に印刷層 4 を載りやすくすることができる。

【図面の簡単な説明】

【0018】

【図 1】 本考案の実施の形態の箔押しシールを示す断面図である。

10

【符号の説明】

【0019】

- 1 箔押しシール
- 2 シート材
- 3 箔層
- 4 印刷層
- 5 粘着剤層
- 6 剥離紙

20

【図 1】

